

科目分類	看護実践能力を高める分野			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
63108	3	前期	選択必修	2	30
授業科目名 (英文)	養護概論 (Introduction to School Nursing)				
担当教員名	入駒 一美				
授業の概要及び到達目標					
<p><概要></p> <p>養護教諭職制の歴史・養成制度や養護教諭の職務の根拠となる法律・制度、子供や取り巻く環境の健康課題の変化から、教育における学校保健の意義、養護の概念と養護教諭に必要な基礎的価値観、養護教諭の専門性と機能、養護活動と保健室の特性について、学修する。また、児童生徒の心身の健康課題の理解を深め、その支援の在り方を考察しながら学校保健活動について、学修する。</p> <p><到達目標及びテーマ></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 養護教諭に求められる役割や学校組織内における職務について、児童生徒の健康課題と養護教諭の職制の歴史、改正された法律や制度とを関連付けながら考察し、「養護」を理解したうえで、学校における養護教諭及び保健室の存在理由を述べることができる。 ② 児童生徒の心身の健康課題の特徴を踏まえ、健康観・病気観・教育観・子ども観など基礎的な価値観について理解し、解決するための学校保健活動について考察することができる。 ③ 養護活動を理解し計画することができ、養護教諭に求められる資質能力について考察し、説明できる。 ④ 学校保健活動を理解し計画することができる。 ⑤ 学習指導案を作成し健康教育を実施することができる。 					
準備学習等					
<ul style="list-style-type: none"> ・第1回～第9回までは、事前配布資料を読んでおき、質問を考えて授業に臨むこと。 ・第10回以降はテキストの「新改訂 学校保健実務必携<第3次改訂版>」の各章を事前学習し、質問を考えて授業に臨むこと。 <p>第10回：学校環境衛生 (第2編第3章)</p> <p>第11回：健康診断 (第2編第4章)</p> <p>第12回：健康観察と感染症 (第2編第7章・8章)</p> <p>第13回：健康教育 (第3編第2章～第11章)</p> <p>第14回：健康教育 (同上)</p>					
成績評価の方法	各授業におけるレポート50%、定期試験50%として、総合して評価する。				

テキスト	「新改訂 学校保健実務必携<第3次改訂版>」、(学校保健・安全実務研究会編著：第一法規) 「改訂 養護実習ハンドブック」、(大谷尚子、中桐佐智子編著：東山書房)
参考図書	「養護教諭のための養護学・序説」、(大谷尚子：ジャパンマシニスト) 「改訂 養護教諭ーその専門性と機能ー」、(小倉学：東山書房) 「改訂 学校保健」、(徳山美智子、中桐佐智子、岡田可奈子編著：東山書房)
備考	・本科目は「養護実習」の履修前提科目である。 ・オフィスアワーは、オフィスアワー案内を参照してください。

授 業 計 画

〔養護教諭とは〕

- 第1回：オリエンテーション／養護の概念、養護教諭職制の歴史と職務・役割の変遷
第2回：養護教諭の役割と専門性：養護ってなんだろう／人間の成長発達と養護

〔保健室とは〕

- 第3回：養護の場としての保健室／保健室経営／関連法規
第4回：保健室経営案の作成／理想の保健室の作成

〔養護とは〕

- 第5回：ゲストティーチャー（現職養護教諭）による講話
「幼稚園・小学校・中学校の現場から養護教諭が行う養護とは何かを考える」

〔保健教育と養護〕

- 第6回：教育課程と保健教育
第7回：保健指導案の作成

〔学校保健の意義〕

- 第8回：学校保健の領域と構造／学校保健・学校安全計画、保健室経営計画
第9回：医療的ケアと養護教諭の役割

〔学校保健活動の実際と養護〕

以下の5回は、学生によるグループプレゼンテーションを取り入れた討議を中心に行う。

- 第10回：学校環境衛生
第11回：健康診断／注意すべき疾病と異常と事後指導
第12回：健康観察と感染症
第13回：健康教育（歯・性・エイズ・飲酒喫煙・薬物よりテーマを選択）
第14回：健康教育／模擬授業
第15回：まとめ／授業評価

定期試験